

# 衆議院予算委員会ニュース

平成 24.2.1 第 180 回国会第 3 号

2月1日(水)、第3回の委員会が開かれました。

- 1 平成 23 年度一般会計補正予算(第 4 号)  
平成 23 年度特別会計補正予算(特第 4 号)
- ・野田内閣総理大臣、岡田国務大臣(行政改革担当)、玄葉外務大臣、安住財務大臣、平野文部科学大臣、小宮山厚生労働大臣、鹿野農林水産大臣、枝野経済産業大臣、前田国土交通大臣、田中防衛大臣、藤村国務大臣(内閣官房長官)、松原国務大臣(拉致問題担当)、自見国務大臣、古川国務大臣(国家戦略担当)及び平野国務大臣(東日本大震災復興対策担当)に質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

## 仙谷 由人君(民主)

- ・今次の第 4 次補正予算案では、どの点に重点を置いたのか。
- ・分厚い中間層の復活のための政策について、野田内閣総理大臣の所見を伺いたい。
- ・金利が 1% 上昇した場合の利払費の増加額及びその場合の対応について、安住財務大臣に伺いたい。

## 齋藤 やすのり君(きづな)

- ・仮設住宅について、風呂の追い焚き機能の有無による不公平が指摘されているが、仕様を見直す考えはあるか。
- ・消費税の逆進性対策について、具体的にどのように考えているか。
- ・TPP について、ISD 条項のリスクに対する認識を伺いたい。

## 小池 百合子君(自民)

- ・沖縄防衛局において、宜野湾市在住職員及び宜野湾市に選挙権を有する親族がいる職員に対し、沖縄防衛局長の講話が行われたが、この事実を田中防衛大臣は知っていたのか。
- ・昨年 9 月に発足した野田内閣は「適材適所」ということだったが、なぜ発足後 4 ヶ月で内閣改造を行ったのか。
- ・平成 23 年度第 4 次補正予算には、平成 24 年度予算に計上すべき経費が計上されているのではないか。
- ・平成 24 年度予算では、交付国債を利用することで、基礎年金国庫負担割合 2 分の 1 を維持するために必要な経費が歳出に計上されていないが、このような手法

は問題があるのではないか。

## 齋藤 健君(自民)

- ・東日本大震災に関連する 15 会議のうち 10 の会議において議事録が作成されていなかった件について、議事録を残すのが難しい状況であったとしても会議を録音するというような対応を取るべきではなかったのか、野田内閣総理大臣の所見を伺いたい。
- ・特定の団体が経済産業省の敷地内を無許可で占拠し、ぼや騒ぎまで起こすのは度が過ぎていると思うが枝野経済産業大臣の所見を伺いたい。
- ・野田内閣総理大臣の過去の演説において「マニフェストに書いていないことはやらない」という発言があったが、消費税率の引上げに関する法案の提出がマニフェストに書いていないことと矛盾しないのか、野田内閣総理大臣の所見を伺いたい。

## 田村 憲久君(自民)

- ・野田内閣政権発足以降、世論調査において消費税増税への反対意見が急増していることについて、野田内閣総理大臣の所見を伺いたい。
- ・給与削減特例法案による減額支給措置期間が経過した後の国家公務員給与は、減額支給前の水準に戻るのか。
- ・民主党の年金制度案に基づく最低保障年金の所要財源に関する試算について、誰が作成を指示したのか。また、国民の不安解消のために試算を公表すべきと考えますが、岡田社会保障・税一体改革担当大臣の所見を伺いたい。

## 石井 啓一君(公明)

- ・東日本大震災で地盤沈下した地域のかさ上げや、被災者の失業給付の延長について伺いたい。また福島支援の在り方について野田内閣総理大臣の所見を伺いたい。
- ・政府の各種会議における記録の在り方について、岡田行政刷新担当大臣はどのように考えているか。
- ・社会保障・税一体改革の与野党協議を呼びかけるならば、新年金制度の具体的な将来像を示す必要があるのではないか。また、最低保障年金制度よりも現行制度を基にすべきであると考えているが、岡田社会保障・税一体改革担当大臣の見解を伺いたい。

大きな追加財源が必要となるものではない旨の発言をしたが、具体的に伺いたい。

- ・歳入庁を設置した場合、国税庁が把握している、日本年金機構が持っていない法人のデータ分の厚生年金保険料の増収を見込むことができると考えるが、歳入庁設置の検討状況を伺いたい。

### 塩川 鉄也君（共産）

- ・被災地が厳しい冬を迎えようとしているこの時期に被災者への医療・介護の負担免除措置や失業保険の延長を打ち切るべきではないと考えるが、政府の認識を伺いたい。
- ・八ッ場ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場の幹事会メンバーの多くが国土交通省からの出向者であるが、これでは予断を持たずに十分な議論を行い、建設再開という結論に至ったとは言えないのではないか。
- ・八ッ場ダム工事及び業務契約企業等には国土交通省から100余名の再就職者がいる。国民が八ッ場ダムを必要としているのではなく、国交省のOBが天下りのためにダム建設工事の継続を望んでいるだけではないのか。

### 阿部 知子君（社民）

- ・放射性セシウムを含む稲わらを食べた、いわゆる汚染牛の追跡調査について、牛の個体識別を情報管理する牛肉トレーサビリティ法がありながら、未だに十分な把握ができていない理由について、小宮山厚生労働大臣の所見を伺いたい。
- ・国が定めた土壤中放射性セシウム濃度の上限値を越えない土地で栽培した稲から、暫定規制値以上の放射性セシウムが検出されたことについて、鹿野農林水産大臣の所感を伺いたい。また、微量でも放射性セシウムが検出された地域の米について、国の責任で全量買い取るべきと考えるが、所見を伺いたい。
- ・放射能による食品への影響について、2008年以降行っていない日常食中の放射性物質の測定検査を再開すべきと考えるが、平野文部科学大臣の所見を伺いたい。

### 浅尾 慶一郎君（みんな）

- ・野田内閣総理大臣は代表質問において、年金制度改革に関する答弁で、2015年の段階で現行制度に比べて